

	質 問	回 答
1	新しい校舎も地域の防災拠点として考慮されていますか。体育館を2階に計画しているのはなぜですか。	これまで通り避難所としての位置づけられており、他の学校と同じように防災倉庫等を計画しています。敷地は水害の可能性があるため、体育館は2階に設けています。
2	安定した自然採光や暑さ対策の観点から、新校舎は線路側に配置した方がよいのではないのでしょうか。	校舎を北側、グラウンドを南側に配置することで、年間を通してグラウンドの陽当たりを確保しやすく、普通教室も南向きでグラウンドに面した配置となり、また、校舎を線路から離すことで騒音も抑えられることから、このような配置としています。
3	現在改築中の堀船中学校の工事の進捗に遅れが発生しているのではないのでしょうか。滝野川第五小学校も工事遅れが発生しないか不安に感じます。	現在、堀船中は令和9年9月開設に向けて新築工事を進めています。計画当初は令和9年4月開設予定でしたが、昨今の建設需要増加等の影響により新築工事の入札が不調となったため、開設時期を変更しました。このことについては、令和6年12月に学校、保護者、北区議会へ報告しています。 堀船中、滝野川第五小のいずれにおいても、遅れが発生しないよう、区、工事事業者、設計事務所で連携して進めて参ります。
4	堀船小への越境通学は可能でしょうか。希望者が多い場合の対応はどうなりますか。	指定校変更については学校支援課学事係が担当課であるため、この場で詳細な回答ができませんため、区ホームページをご確認ください。 なお、本日の説明資料に掲載した二次元コードより滝野川第五小改築事業のページにアクセスすることができ、同ページにあるQ&Aに担当課のページへのリンクを掲載しています。
5	校舎を南側に配置すれば、夏にグラウンドに日影ができてよいのではないのでしょうか。南側配置について、グラウンドの陽当たりの状況をシミュレーションして示すことは可能でしょうか。	ご意見をいただいたとおり、校舎を南側にすることのメリットもあり、校舎の配置については、東西南北それぞれに配置した場合の比較を行ったうえで検討会を進めてまいりました。質問2の回答でお示しのとおり、南側配置は線路の騒音による学校運営上のデメリットが大きく、また、年間を通しての日照も考慮したうえで、校舎を北側に配置することを地域やPTAで構成する基本設計検討会で決定しました。そのため、南側配置とした場合のシミュレーションを行う予定はありません。